

製品名: RPC10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17353**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	POLR3K RPC11 My010
別名	
遺伝子 ID	51728.0
SwissProt ID	Q9Y2Y1
免疫原	ヒトタンパク質 AA 範囲の一部領域から得られた合成ペプチド: 51-100

背景

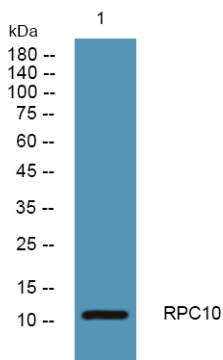
この遺伝子は、真核生物において転移 RNA および小型リボソーム RNA の合成を担う RNA ポリメラーゼ III の必須小サブユニットをコードしています。このサブユニットのカルボキシ末端ドメインは、RNA ポリメラーゼ II 伸長因子のカルボキシ末端ドメインと高い

配列相同性を有しています。この配列相同性は、このサブユニットが転写中の適切な一時停止と終結に必要であることを示す機能研究によって裏付けられています。この遺伝子の擬似遺伝子は、13番染色体と17番染色体上にあります。[RefSeq提供、2010年7月]
機能: DNA依存性RNAポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として、DNAからRNAへの転写を触媒します。5S rRNAやtRNAなどの小さなRNAを合成するRNAポリメラーゼIIIの構成要素。類似性:古細菌 rpoM/真核生物 RPA12/RPB9/RPC11 RNAポリメラーゼファミリーに属する。類似性:1つのTFIIS型ジンクフィンガーを含む。サブユニット:17のサブユニットからなるRNAポリメラーゼIII (Pol III)複合体の構成要素。

研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、RNAポリメラーゼ、細胞質DNA感知経路

画像データ



Jarkat 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、RPC10 ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩